

## 中間報告会開催概要

- ・ 開催日時：平成 30 年 3 月 22 日(木)  
午後 7 時～ 8 時 40 分
- ・ 場 所：いずみホール（Bホール）
- ・ 参加者：35 名
- ・ 出席委員：8 名



### ■ 内 容

#### まちづくりの方向性（案）

- ・ まちづくりの方向性（西国分寺駅北口周辺地区ブランドコンセプト）
- ・ ゾーニング（土地利用）の方向性
- ・ 公共施設（駅前広場・道路等）の方向性

### ■ 主な意見概要

- ・ 来年度以降、より求心力を持ってまちづくりを進めていくために、端的なセンテンスが示せると良い。一案として、人間の持つ創造性を伸ばしていきけるようなまち、「人を創るまち」を提案する。
- ・ 懇談会でも、静かで低層のまちが良いという意見が多かったと思う。そのような環境をどう維持できるかについても検討の中に含めてほしい。
- ・ 武蔵国分寺と関連させたまちづくりをするのはどうか。
- ・ 武蔵境駅南口、武蔵野プレイスが人気のようだ。中央線沿線駅前の事例の研究をしたらどうか。
- ・ 北口だけでなく、西国分寺駅周辺を包括的に検討してほしい。この地区だけ良くなるのではなく、ここが良くなり市全体が良くなることを希望する。
- ・ 国分寺駅北口の再開発をふまえ、この地区のまちづくりをどう考えるのか。
- ・ 今後、検討を進めるに当たり、将来のまちがどうなるかを、シナリオ（物語）で表現する手法を取り入れたらどうか。
- ・ このようなまちづくりの検討には、一定以上の年齢の人しか集まらない。多様な世代が参加するような新しいやり方を模索していく必要もある。
- ・ 若者はこのような場に、なかなか来ないので、インターネットや SNS 等、若者に馴染みやすい手法を試してみたらどうか。
- ・ 道路整備では、空き地や農地を優先的に買収し、出来るところから拡幅していくような、修復的手法を活用してほしい。
- ・ 今後、建ぺい率や容積率の緩和や用途地域の変更は考えているのか。
- ・ 計画を実現するとなると、事業費はどの程度になるのか。市の財源を使うのか。